


Step 3 各教科の目標及び内容の調整・見直し

まずは、年間指導計画等に示されている【各教科の目標及び内容】に迫る授業を、児童生徒の実態に応じて考えます。【各教科の目標及び内容】をそのまま取り扱うことが難しい場合には、学習指導要領を参照し、実態に合った【各教科の目標及び内容】に調整・見直しをしていきます。

※調整・見直しの留意点については「**参照**各教科の目標及び内容の段階の調整・見直しの留意点」P2—10, 11をご覧ください。

調整・見直し前の年間指導計画		Step 1 年間指導計画等で必要事項を確認しましたか？
【指導の形態】 各教科等を含めた指導 生活単元学習	【単元（題材）名】 買物に行こう	【時数】 7時間
【指導の期間】 5月～6月	【学部・学年】 中学部2学年	
【単元（題材）の目標】 ・買物学習を通して、商品の買い方や並び方を理解して買物ができる。【知識及び技能】 ・買物に関わる人に任ねるように表現を工夫することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・買物学習に関連して取組む、学習に活用しようとする。「学びに向かう力、人間性等」		
【単元（題材）の計画】		
【時間】	【主要学習活動】	【各教科の目標及び内容】
1時間	1. オリエンテーション ・学習の目的及び内容について知る。	一斉指導
2時間	2. 買物の準備 ・生活に必要な物の選び方、買物の仕方について ・店員さんとのやり取りについて	一斉指導
3時間	3. 買物（当日） Step 2・4 「単元ごとを生かしている姿」につながる学習活動となっていますか？ Step 5 全員が十分に学べる集団の学習活動になっていますか？	一斉指導
1時間	4. 振り返り	一斉指導
		職業・家庭（家庭分野） C消費生活・環境ア（ア） （中学部1段階） 国語A聞くこと・話すことエ（小学部2段階） Step 3 各教科の目標及び内容（育成を目指す資質・能力）は生徒の実態に合っていますか？

Step 3 各教科の目標及び内容の調整・見直し

 【各教科の目標及び内容】（育成を目指す資質・能力）を記入しましょう。「教科別の指導」の場合、児童生徒の実態に合った「段階」に調整見直し、記入します。「各教科等を含めた指導」の場合には教科、段階を見直し、記入します。

教科	目標	内容	段階	調整
職業・家庭	職業・家庭（家庭分野）	C消費生活・環境ア（ア）	（中学部1段階）	
国語	国語A聞くこと・話すことエ		（小学部2段階）	※段階を調整・見直し

年間指導計画等で示された
【各教科の目標及び内容】

職業・家庭（家庭分野）C
消費生活・環境ア（ア）
（中学部1段階）
国語A聞くこと・話すこと
エ（中学部2段階）

調整・見直し

氏名



【各教科の目標及び内容】
（育成を目指す資質・能力）

・職業・家庭（家庭分野）C消費生活・環境ア（ア）
（中学部1段階）
・国語A聞くこと・話すことエ
（小学部2段階）※段階を調整・見直し

※各教科の目標及び内容は、学習指導要領を参照してください。

